第151号
2022
10.15

かわにし

議会だより

実りの秋 天高し

大塚小学校の稲刈り　P17に関連記事

川西町議会H.P
QRコード

8月3日豪雨被害 大きなつめ跡 …… 2
決算認定 交付金で整備進む ………… 4
副町長に鈴木氏 ………………………… 14
6人が町政をただす 一般質問 …… 18
いいね！かわにし街角インタビュー …… 26

◦発行／山形県川西町議会　◦編集／広聴広報常任委員会　◦印刷／有限会社 笹原印刷
〒999-0193　山形県東置賜郡川西町大字上小松977番地1　TEL0238（42）6674　HP http://www.town.kawanishi.yamagata.jp

8月3日豪雨被害 生活・観光などに大きなつめ跡

災害対策

被害額は50 億3224万円
（9月16日現在推定）

補正予算16億8200万円で応急措置

8月3日、川西町に洪水警報、大雨特別警報が出され、最上川西大塚水位観測所で17・45ｍ、下田水位観測所で18・73ｍを記録し（いずれも令和元年、台風19号時を上回る水位）観測史上最高の水位となった。避難指示、緊急安全確保が出され、避難者数も646人となった。町内で住宅、道路、河川、農作物等の甚大な被害が発生した。被害の全容はいまだ確定できない状況である。（9月16日現在）

町では8月3日午後5時に災害対策本部を立ち上げ、9月15日まで17回の対策本部会議を開催し対応してきた。

議会では産業厚生常任委員会で被害状況報告を受け、対応を協議した。総務文教常任委員会では北海道研修を切り上げ急遽帰郷、対応に当たった。

被害規模が大きく、全容が把握できないため、まず、復興・復旧に全力を挙げることを確認した。また、各常任委員会正副委員長を中心に当局とともに、吉村美栄子県知事、衆参両院国会議員、県議などの被災状況の視察対応に当たった。

8月22日には全員協議会で被害の速報が報告され、さらに8月24日に災害の応急的な予算（一般会計補正予算第3号）が専決処分された。9月22日には追加の予算（一般会計補正予算第5号、p13参照）が上程され可決された。被害状況の概要と予算は次に示すとおりである。

このたびの大雨洪水に遭われ、被害を受けた方々に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興を祈ります。

議会としても町当局とともに、全力で元の生活に戻れるよう尽力致します。

生活再建の第一歩は大変な泥かき出しから

長堀堰の決壊　出穂期の対応が困難に ＝ 下小松地内

高校生もすぐかけつけてのボランティア

住宅被害（9月16日現在）

住家被害	戸数	非住家	戸数
半　壊	4	浸水被害	569
床上浸水	142		
床下浸水	226		
合　計	372		

主な農作物被害（9月16日現在）

作物名	被害面積(ha)	被害額
水稲	38.3	1279万円
大豆	183.6	2494万円
えだまめ	51.3	5752万円
紅大豆	22.3	761万円
アスパラガス	13.2	6600万円
合計※1	450.5	2億9312万円

道路河川等被害※2

路線名	被害内容	被害額
殿原公園線 公園中線 温井線(玉庭)	路面流出・崩土など県道町道関係12路線	1億7700万円
山口沢川など	破堤7カ所、決壊6カ所など	2億7000万円
大光院1号沼(鏡沼)など	決壊、他489カ所	14億円
町内事業所(法人34、個人30)	施設・設備・商品の浸水、冠水	1億2430万円
観光施設(ダリヤ園)	園内冠水、土砂流入など	1億5750万円
災害廃棄物(可燃539t、不燃175t)		5985万円

災害対策(第1弾)専決予算（一般会計補正予算第３号）

事業名	主な内容	金額
扶助費	災害見舞金など	9064万円
補助費等	浸水地帯の水道料減免など	8465万円
災害復旧費など	支障物撤去・応急修理補助・豪雨災害復旧工事など大光院堤仮応急工事など	4億7545万円
合　計		6億5074万円

※1　主な作物の掲載で、合計とは合いません
※2　主な被害のみを掲載しました

次は9月定例会

令和3年度決算認定

コロナ対策交付金で整備進む

9月定例会

9月定例会のあらまし

9月定例会が、9月2日から22日までの21日間の会期で開催された。

第1日目に、人事2件に同意、令和3年度一般会計等健全化判断比率等報告2件の後、請負契約2件、令和4年度一般会計補正予算など3件の専決処分を承認。条例4件、令和4年度各会計補正予算7件、請願2件を一括上程し、常任委員会、予算特別委員会に付託した。

また、令和3年度各会計決算認定7件を一括上程し、第5日目に決算特別委員会に付託した。

第4、5日目に、6人の議員が一般質問を行い、8月豪雨災害対策、学区再編等について町政をただした。

第1日目以降、特別委員会、常任委員会、予算・決算特別委員会分科会を開催し、議案を審議した。

最終日に、付託した条例、補正予算、決算認定を原案通り可決、請願2件を不採択とした後、追加の一般会計補正予算を審議、可決し閉会した。今定例会の傍聴者は8人だった。

公共投資で町債残高増加
施策の重点化・効率化を図れ

一般会計黒字に

一般会計の歳入総額は124億1016万7千円、歳出総額は119億4707万7千円となった。歳入歳出差し引きは4億6309万円となり、翌年に繰り越す財源1億6615万5千円を差し引いた実質収支は2億9693万5千円となった。

令和3年度の実質単年度収支は、3億3102万円の黒字となった。

借入金残高は増加

借入金残高は増加したが、財政健全化法に基づく財政指標（6ページ参照）は、国の財政指標をクリアしており健全と判断した。

地方交付税は増額

最大の財源である地方交付税は55億4422万円で、置賜広域病院企業団分を差し引いた本町純粋分は42億5668万円、前年比3億6327万円の増額となった。

メディカルタウンや地域交流拠点整備（庁舎跡地）などの町債残高が増加し、その負担が大きくなった。

適正な財政運営を

大型事業が本格化する中、コロナ関連交付金での感染症対策や施設整備が進んだが、一層の財政健全化を望む。

令和3年度主な事業

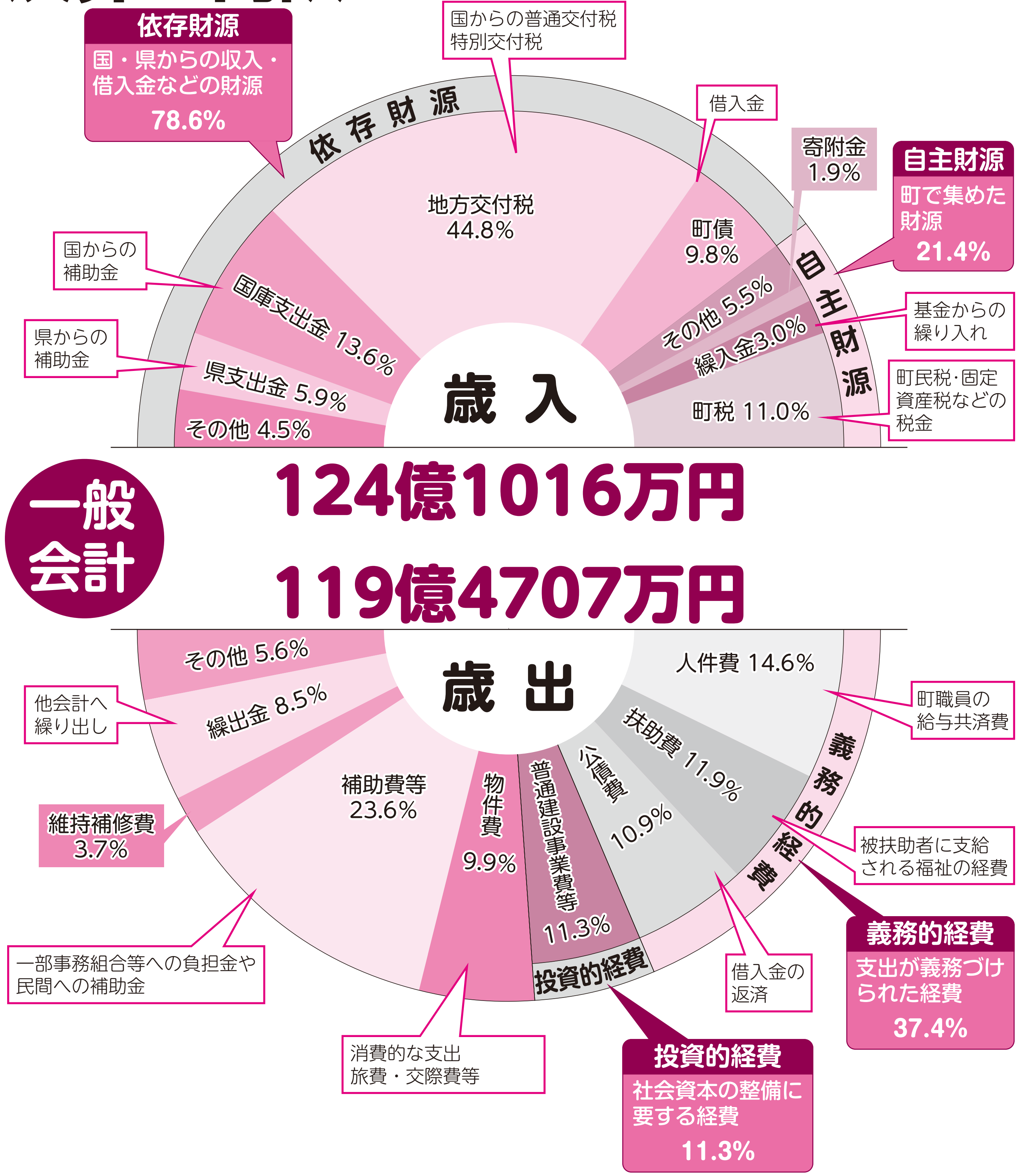
①新型コロナウイルス感染症対策事業
②メディカルタウン整備事業
③旧役場庁舎･中央公民館解体設計及び地域振興拠点整備

コロナ対策交付金の主な事業

・新型コロナ感染症緊急経済対策 1～3弾
・プレミアム付商品券発行
・稲作経営継続支援
・持続可能な農業支援

など

決算の内訳



次は決算審議

決算審議

コロナ対策・地域振興拠点整備・メディカル整備など
行政需要増加に適正運営を

決算特別委員会は常任委員会を単位とする2分科会で構成され、一般会計など7会計を審議した。

ここでは監査意見、総括質疑、町長に対する質疑、各分科会での質疑を要約してお伝えする。

分譲も始まり着々と工事が進んでいるメディカルタウン ＝ 大塚地内

より住民の意見を取り入れるため地域拠点ワークショップを４回開いた

令和３年度各会計決算の認定状況

会計別	歳入	歳出	認定の内容
一般会計	124億1016万円	119億4707万円	全員賛成で認定
国民健康保険事業特別会計	18億5742万円	18億2343万円	全員賛成で認定
下水道事業特別会計	5億938万円	5億568万円	全員賛成で認定
農業集落排水事業特別会計	9760万円	9521万円	全員賛成で認定
介護保険事業特別会計	19億8877万円	19億4704万円	全員賛成で認定
後期高齢者医療特別会計	1億8076万円	1億7941万円	全員賛成で認定

水道事業会計	収益的[※1]	4億7939万円	4億3713万円	全員賛成で認定
	資本的[※2]	1億6006万円	3億2368万円	

※１　収益的収支は水道水の収入と支出、資本的収支は水道施設に係る収入と支出

※２　不足する1億6362万円は消費税調整額、損益勘定留保資金で補填した。

監査意見

起債管理と事業選択で財政の健全化を

一般会計は従来通りであったが、国保事業会計、水道事業会計については特に所見として指摘があった。

一般会計

本町財政は依然として地方交付税への依存度が高く、交付の多少により財政指数が大きく変動する。今後、大規模な公共施設整備（地域振興拠点施設整備事業等）により公債費が大幅に増加するため、起債管理に十分留意し財政健全化に努めるよう指摘した。

主な数値は、経常収支比率91・5％で2・7ポイント好転した。財政力指数は0・248で、財政力は依存財源に頼る体質となっている。

国保事業会計

税負担の公平性を確保する観点から、早急に収納率の向上に向けた対策を実施し、効率的な事務処理を行うこと。滞納繰越分の個別事情等を精査し、必要に応じて不納欠損処分を行うなどのマニュアル化の検討を指摘した。

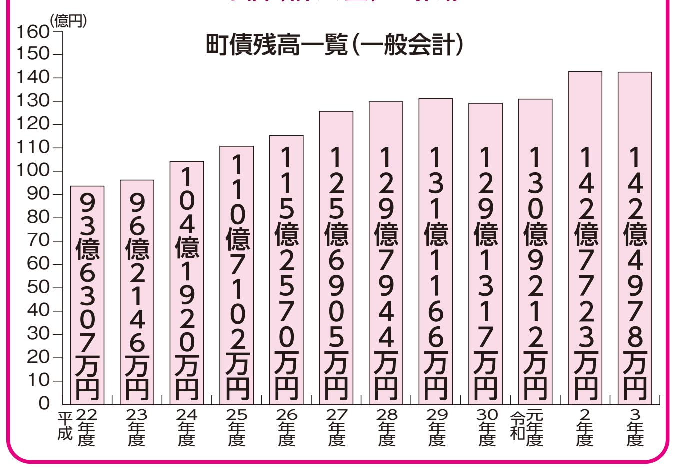
水道事業会計

収益を確保するには、有収率の向上と未収金対策を計画的・継続的に実施する必要がある。71・0％まで低下した有収率の向上が喫緊の課題であり、漏水調査や老朽管の布設替工事を計画的に実施するよう指摘した。

監査委員　嶋貫　榮次・吉村　徹

ここが知りたい

町債（借入金）の推移



基金の残高

	財政調整基金	町債管理基金	庁舎建設基金
平成28年度	6億3456万円	1億2226万円	3億1005万円
平成29年度	4億7642万円	2608万円	4億1007万円
平成30年度	3億5996万円	989万円	4億4459万円
令和元年度	2億2167万円	1369万円	3億9696万円
令和２年度	4億524万円	7748万円	1億1352万円
令和３年度	6億97万円	1億8163万円	0円

財政指標　令和３年度川西町一般会計等健全化判断比率

	実質赤字比率 一般会計の赤字額が[※]標準財政規模に占める割合	連結実質赤字比率 全会計の実質赤字額が標準財政規模に占める割合	実質公債費比率 全会計の償還額が標準財政規模に占める割合	将来負担比率 将来一般会計から負担されると想定される金額等が標準財政規模に占める割合	公営企業会計に係る資金不足比率 資金不足の額が事業規模に占める割合
川西町	－	－	12.00%	132.60%	－
国の指標 早期健全の基準	14.08%	19.08%	25.00%	350%	20.00%
国の指標 財政再建の基準	20.00%	30.00%	35.00%	－	－

※標準財政規模　標準的な税収、地方交付税、地方譲与税等自由に使える財源の標準的な規模を表す。令和３年度の本町標準財政規模は68億9279万5千円。

次は総括質疑

臨時財政対策債の中味はなにか

神村建二 議員

神村 町債は歳入項目の一つであるが、それを構成している臨時財政対策債の中味は何か。

財政課長 臨時財政対策債は、国から地方自治体に交付する地方交付税が不足する時に、不足分を補う目的で借入する地方債の一種である。

これは他の町債のように使途を限定するものではなく、地方交付税と同じく一般財源となる。借入金は次年度以降の償還時に地方交付税として100％算入される。

借入可能な額は地方財政計画で示され、毎年地方交付税の算定に合わせて変動する。

コミュニティの希薄化への対応

橋本欣一 議員

橋本 コロナ禍2年目、町をはじめ各地域でも事業・行事・イベントなどの中止、自粛が相次いで、住民の交流・コミュニティの希薄化が進んでいると思うが対策は。

町長 感染症拡大を防ぐには致し方ないが、ワクチン接種も進み、催事の再開の動きもある。活性化のためにも以前のように戻していきたい。

橋本 国保会計で一人当たりの医療費が46万8000円と昨年より3万2000円も増えている。医療費削減が言われる中、原因は何か。

町長 高額医療費の増加である。

学生から一言

議員インターンシップ
左より、丸山、佐藤、上田、渡部各氏

渡部有希斗君（山大工3年）
議場の雰囲気にのまれ緊張しました。質問答弁のやり取りが面白かった。貴重な体験でした。

上田桃菜さん（米短大1年）
岩手県大槌町出身です。地元の議会傍聴もしてみたいと思いました。

佐藤美玖さん（米短大1年）
町民のために意見を述べ、時間をフルに使って頑張っていると感じました。

丸山愛加さん（福島大3年）
他町の議会一般質問では展望が多い。川西町議会は今を見ていて、町民の声を反映させていると思いました。

９月定例会の議決状況

議会基本条例の規定により賛否の分かれたもののみ、各議員の議案に対する賛否状況を報告する。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
議員名	井上 晃一	遠藤 明子	渡部 秀一	吉村 徹	島貫 偕	伊藤 寿郎	伊藤 進	神村 建二	橋本 欣一	淀 秀夫	髙橋 輝行	欠員	寒河江 司	鈴木 幸廣
請願第３号　消費税に関わるインボイス制度の周知の徹底と導入時期の延期の請願	○	×	×	○	×	−	×	○	○	×	×		×	
請願第４号　みどりの食糧システム戦略の推進と有機農業の拡大についての請願	×	×	×	○	×	−	×	○	○	×	×		×	

他の議案はすべて全員賛成でした。○は賛成、×は反対、−は欠席。議長は賛否に加わらない。

町長に聞く

分科会の決算審査で、特に政策的な事項を町長に聞いた

今後の財政見通しは

第一分科会

近年大規模プロジェクトが続いていることで公債費が高水準で推移することや、社会保障関係経費の自然増等に備えていく必要がある。

多様化する行政ニーズへの対応と行政サービスの向上、メディカルタウン構想や地域振興拠点施設整備など、大規模プロジェクトの推進、施設の老朽化への対応策を含めた公共施設の在り方なども解決していきたいと考えている。

事業を推進するにあたり、財源の確保、事業の選択と重点化に向けた絞り込みを図り、かわにし未来ビジョンに掲げる事業を推進するため、3カ年を期間とした実施計画において、財政状況や町民生活を取り巻く環境の変化などに対応しながら、毎年ローリング方式により必要な見直しを行い、効果的、効率的な行政運営に努めている。

町民ニーズに応えるために一工夫

行財政改革は

行財政改革に向け経営改革プランを策定し、各アクションプランごとに成果指標を定めている。毎年PDCAサイクルによる見直しを実施しており、ICT活用による業務の効率化、事務事業の洗い出し、ふるさと納税の拡充など、歳入確保に取り組みながら効果的、効率的な事務執行に努めている。

農業水利施設の管理

第二分科会

本町の農業水利施設としては、用排水路や農業用ため池等があり、そのほとんどが白川土地改良区と米沢平野土地改良区の管理施設である。土地改良区では基幹水路や農業用ため池を、下部組織の維持管理組合で用排水路等の維持管理を行っている。

また、中山間部には小規模な水田や水路等を管理する、ため池の一部に水位監視カメラが設置されており、水位上昇を監視するシステムが導入されている。

町管理の農業水利施設

町が管理する農業水利施設は、内山沢地域内にある大光院堤1号で、この堤は白川土地改良区が管理する内山沢堤、新八堤と合わせて「重ね堤」として位置付けられ、下流域水田の用水確保と流入する雨水を緩やかに排水することによる防災機能を有している。内山沢地域の農業用ため池は、江戸時代に作られたとされ、昭和62年に大光院堤1号が白川土地改良区から川西町に移管となり、以降町管理のため池となっている。

平成5年には県営水環境整備事業により堤体補強工事を実施している。県の防災重点農業用ため池に指定されており、5月と9月に定期点検を行うとともに目視による日常点検を行っている。

近年まれな長堀堰水路の決壊

次は分科会審査

置賜農高とのさらなる連携を図れ

置賜農高生も大活躍 ＝ こまつ市

問　置賜農業高等学校連携推進事業の状況は。

まちづくり課長　生徒の広域的で創造的な活動を推進するため、置賜農業高等学校連携事業補助金30万円を交付した。

意見　引き続き連携推進を図り、支援の充実に努めること。

問　一般職員給与費が増大しているが。

総務課長　新庁舎移転業務に伴い、時間外勤務が増えた。

意見　今後も勤務時間の管理と健康保持の取り組みを徹底すること。

問　やまがた里の暮らし推進機構の運営状況は。

まちづくり課長　情報発信の強化のためニューズレターの配信に取り組んだ。

意見　都市部に限らない交流を展開し、活動内容を町民に周知すること。

問　防火水槽整備の状況は。

安全安心課長　消防力整備計画に基づき防火水槽の整備を進めている。

意見　各地区で多くの整備箇所の要望があるので、早急に対応できる整備方法を検討すること。

問　生涯スポーツ推進事業は。

教育文化課長　スポーツ少年団育成のための補助金で13団体に支援している。

介護認定増、一層の予防活動支援を

問　介護予防サービスの事業状況は。

福祉介護課長　前年度より要介護3、要介護4の認定者数が増えた。介護予防活動支援で15団体でいきいきサロンを実施している。

意見　団体ばかりでなく、自治会に対して積極的に情報を提供し、連携を図り協力を求めること。

問　民生委員児童委員の選任状況は。

福祉介護課長　推薦会で民生委員児童委員の推薦を行い、3年間の職務に当たっていただいている。

意見　重責化する委員の業務負担軽減と適正化を図り、委員のなり手不足の解消に向けて検討すること。

問　小松保育所施設整備と需要動向は。

健康子育て課長　施設の老朽化が進む中、民間施設拡充が図られており、出生数の推移、保育サービスの需要動向を調査検証し、乳幼児施設の今後の在り方について、内部検討している。

意見　病的医療ケア児など障害を持つ乳幼児への対応についても検討すること。

問　水道事業会計決算認定は。

意見　計画の精査・検証を行い、体制の強化や効率的な改善を図ること。

コロナ禍で再開され久しぶりの運動となった ＝ いきいきサロン

次は補正予算

補正予算

コロナワクチン接種促進や施設整備充実

令和4年度一般会計補正予算（第4号）は、新型コロナワクチンの4回目の接種関連経費や冬期交通確保で除雪機等の整備費用、消防装備の充実、公共施設の維持管理工事が中心である。

一般会計補正予算（第5号）は、最終日に災害対策として提案され全員賛成で可決された。

一般会計補正予算（第4号）

国のコロナワクチン特例臨時接種が現行「令和4年9月30日」までだったが「令和5年3月31日」までに改正されたことから、本町としては令和4年12月30日までに4回目接種を完了する予定でいる。

今後、オミクロン対応のワクチン接種を供給していき、9月28日のフレンドリープラザで行う集団接種から取り扱う。個別接種は10月1日以降接種分からの対応となる。

対象者は12歳以上で1万2500人の予定で、5歳～11歳の接種対象者は約380人、生後6カ月～4歳までの対象者は約350人である。

元気な地域農業担い手育成支援事業

地域農業を支える組織的な取り組み（生産性向上や多様な人材の受け入れに地域ぐるみでの取り組み）で田植機2台、播種機1台、自動操舵システム2台、担い手の経営発展の取り組み（新規就農からの定着、発展や経営継承に向けた経営基盤の強化）でマルチスプレーヤー1台、低温貯蔵庫1台の支援をした。

玉庭小学校寄宿舎解体事業

玉庭小学校寄宿舎は昭和46年11月建築で、平成4年度を最後に利用者がなくなり、老朽化が進み解体することになった。

オミクロン対応のワクチン接種が進む

主な質疑

問 消防ポンプ車の整備事業は何を配備するのか。

安全安心課長 可搬ポンプや資機材・器具を搬送するために軽トラックを配備するもの。

問 ダリヤ園整備事業の内容は。

産業課長 駐車場に隣接する多目的トイレを修繕するもの。

意見 利用者ニーズをもとに計画的に整備を図るように。

問 フレンドリープラザ開館30周年事業の増額は。

教育文化課長 井上ひさし氏の書斎（鎌倉）をフレンドリープラザ内に移設するための打ち合わせ費用である。

問 下水道事業の管渠管理費の内容は。

地域整備課長 マンホール内の老朽水位計の更新である。

意見 施設や管路の更新では有利な財源確保に努め、年次計画的に進めるよう意見した。

問 小松保育所施設整備事業の内容は。

健康子育て課長 不具合が生じ修理不能となった暖房機器の交換である。

意見 設置場所、安全性を考慮するように。

令和4年度各会計補正予算

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計（第４号）	123億6277万円（8803万円を追加補正）	全員賛成により可決
国民健康保険事業特別会計（第１号）	17億1288万円（2941万円を追加補正）	全員賛成により可決
下水道事業特別会計（第３号）	4億8583万円（982万円を追加補正）	全員賛成により可決
農業集落排水事業特別会計（第１号）	9776万円（239万円を追加補正）	全員賛成により可決
介護保険事業特別会計（第2号）	20億9103万円（4182万円を追加補正）	全員賛成により可決
後期高齢者医療特別会計（第１号）	1億9706万円（234万円を追加補正）	全員賛成により可決
水道事業会計（第３号）収益的支出	4億6164万円（50万円を追加補正）	全員賛成により可決

一般会計補正予算（第4号）の主な内容

（歳出）	
新型コロナウイルスワクチン接種事業 委託料等	4463万円
元気な地域農業担い手育成支援事業 農業機械整備補助	810万円
冬期交通確保事業　機械整備費	1000万円
ポンプ車整備事業　車両整備費	407万円
（歳入）	
国庫支出金	4932万円
地方特例交付金	531万円

一般会計補正予算（第5号）

自治公民館修繕補助金

被災した自治公民館の修繕に対し復興に向け補助するものである。

農林水産物等災害対策事業

被災した農機具、病害防除用農薬、肥料、補植用苗・種子・果樹苗木等に補助するもの。県との協調事業で、県3分の1、町6分の1を補助するものである。

被災住宅修繕支援事業

被災者向け住宅復旧支援補助金で補助率は2分の1、町補助は床上上限30万円、床下上限20万円。県補助加算床上上限22万5000円、床下上限20万円となる。

公共土木施設災害復旧事業

公共土木施設、河川15カ所、道路10カ所など。

一般会計補正（第5号）の主な内容（災害対策・第２弾）

事業名	主な内容	金額（千円）
（主な歳出）		
民生費	被災自治公民館修繕料補助金など	1036万円
農林水産業費	被災農機具、病害防除用農薬肥料などに対する補助	3347万円
災害復旧費	小規模農地災害緊急復旧工事、公共土木施設復旧工事など	8億9196万円
合　計		10億4388万円
（主な歳入）		
国庫支出金	公共土木施設災害復旧費など	4億2531万円
県支出金	住宅復旧緊急支援事業など	1億3251万円
町債	公共土木施設災害復旧事業債など	3億8470万円

次は人事・名称変更

人事

副町長に鈴木清隆氏を同意

令和4年9月2日の定例議会において、山口俊昭副町長が9月30日付けで任期満了のため提案され同意した。

●鈴木清隆（すずき きよたか）
川西町大字上小松
昭和58年4月入庁
平成29年4月総務課長
令和2年3月定年退職
令和2年4月再任用総務調整主幹

全員賛成により同意

教育委員会委員に川崎幸さんを同意

令和4年9月2日の定例議会において、斎藤聡子教育委員が9月30日付けで任期満了のため提案され同意した。

●川崎幸（かわさき ゆき）　川西町大字時田
職業　農業
米沢市内の保育園で保育士を歴任、結婚して退職
現在、川西町まちづくり委員会委員

全員賛成により同意

副議長に寒河江司議員選出

令和4年8月9日の臨時議会において、伊藤寿郎副議長の辞任（7月26日付）につき副議長選挙が行われ、寒河江司議員が当選した。

開票結果
寒河江司議員　7票
淀　秀夫議員　4票
白票　1票

●寒河江司（さがえ つかさ）
川西町大字洲島

産業厚生常任委員長に島貫偕議員、副委員長に遠藤明子議員が選任

令和4年8月1日の臨時議会において寒河江司委員長の委員長辞任に付き新たに、委員長に島貫偕議員、副委員長に遠藤明子議員が選任された。

同時に議会運営委員に島貫偕議員が選出された。

字名変更

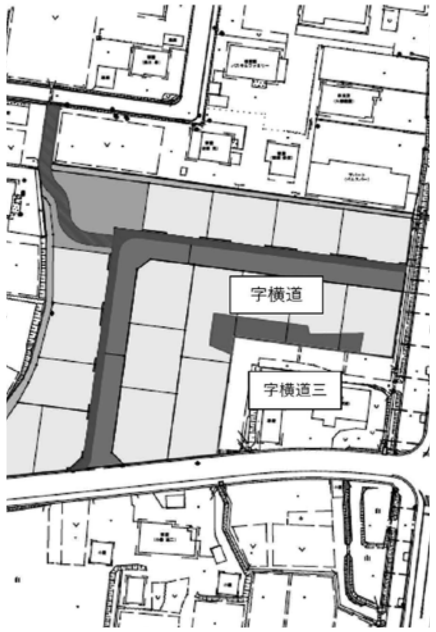
令和4年8月9日の臨時議会において字の変更があった。

メディカルタウン内の字の変更

変更前　大字西大塚字横道三

変更後　大字西大塚字横道

全員賛成により可決



条例

選挙費用公費負担に

公職選挙法改正により、町村での選挙でも公費負担が拡大され、町議会議員選挙および町長選挙で、候補者の立候補環境改善を目的に本制度を設ける提案。

公布の日以後、その期日を告示される選挙から適用。

全員賛成により可決

育児休業一部改正

地方公務員および国の非常勤職員の育児休業の見直しに伴い制度の改正を行うもの。

《施行期日》
令和4年10月1日施行

全員賛成により可決

請願審査

請願名
消費税に関わるインボイス制度の周知の徹底と導入時期の延期の請願

請願者
置賜農民連
会　長　小林　茂樹

紹介議員　橋本　欣一
吉村　　徹

主な内容
制度の理解が十分に進んでいない。周知の徹底を図るとともに、導入時期延期を求める意見書提出の請願。

審査の経過と結果
時期が決定しており対応も進んでいる。

賛成少数で不採択（賛成4人）

請願名
みどりの食糧システム戦略の推進と有機農業の拡大について

請願者
置賜農民連
会　長　小林　茂樹

紹介議員　橋本　欣一
吉村　　徹

主な内容
左記の事項三点。
一、みどりの食糧システム戦略の内容を広く周知し、住民全体の課題として推進すること。
二、環境保全農業直接支払交付金制度を充実させ、予算の拡大を関係機関等に要請すること。
三、有機農業推進のためソフト事業面の推進徹底を図り、その推進予算の拡大を行うこと。

審査の経過と結果
すでに町で事業として取り組み始めている。

賛成少数で不採択（賛成3人）

特別委員会

置賜農業高等学校存続に関する特別委員会

置賜農業高校の全国和牛能力共進会出場にかかる懸垂幕整備を、庁舎に行ったことを関係団体へ周知した。

今後は、期成同盟会準備会設置に向けた会議を行っていく。

主要地方道米沢飯豊線菅沼峠整備に関する特別委員会

7月16日の大雨により災害が発生したことで、再度県議会議員各位への要望活動を行うことにした。

8月3日の豪雨災害で、国道113号が不通となり、その迂回路機能が発揮され、それを含めた要望活動となった。

中心市街地活性化調査特別委員会

山形市（株）まちづくりサポートセンター代表取締役佐藤克也氏を講師に「中心市街地の賑わい創出に向けて」をテーマに研修会を行った。

また、商工会青年部との意見交換会では、保護猫の施設等、猫を題材にした取り組みの提案が出された。

次は請負契約

請負契約

旧川西町役場庁舎・中央公民館解体工事

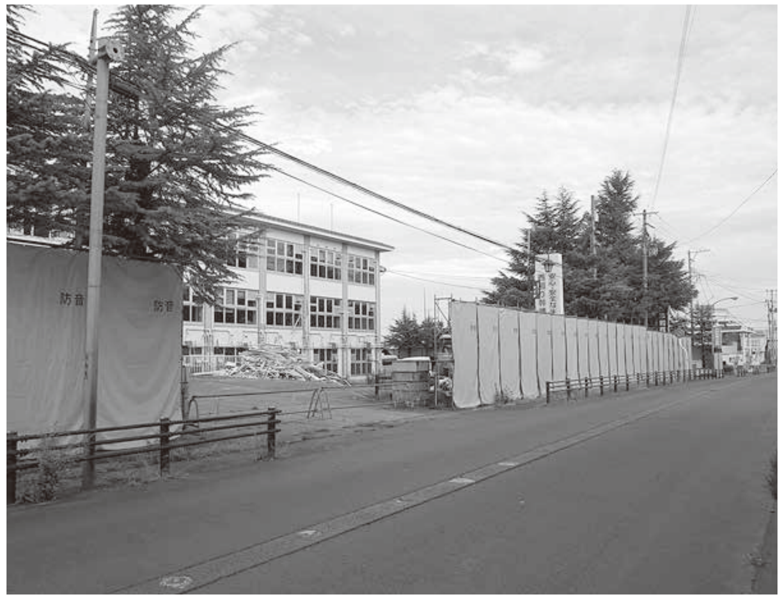
請負金額
4億2900万円

受注者
株式会社　殖産工務所

工　期
令和5年6月30日まで

施工上の留意事項として、工事現場内外の安全対策による事故防止や、アスベスト飛散防止、工事騒音、粉塵等の対策および使用道路や近隣工作物に対する損傷の未然防止対策の徹底を図る。

全員賛成により可決



アスベスト対策も万全で、いよいよ解体が本格化 ＝ 旧役場庁舎

虚空蔵山西線道路改良工事

虚空蔵山西線道路改良工事（1工区）の変更

請負金額
変更前　5940万円
変更後　6002万2600円
差額　62万2600円

受注者
株式会社　藤島建設

工　期
令和4年11月30日まで

取付道路工78・9㎡の追加分。

全員賛成により可決

虚空蔵山西線道路改良工事（2工区）の変更

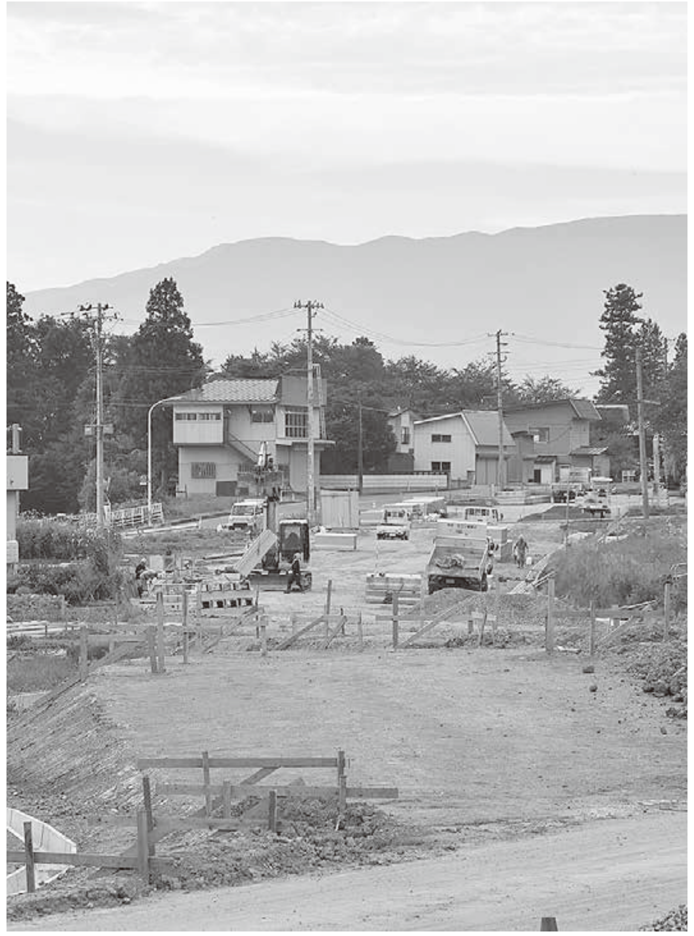
請負金額
変更前　1億10万円
変更後　1億3317万2300円
差額　3307万2300円

受注者
株式会社　殖産工務所

工　期
令和5年3月20日まで

下層路盤工7575・8㎡で390m分の変更工事。

全員賛成により可決



米沢市側からも工事が進み全容が見えてきた ＝ 米沢市側からのぞむ

委員会レポート

再生可能エネルギーで持続可能な社会づくり

総務文教常任委員会

持続可能な地域社会の実現に向けた取り組みをどのように進めて行くか、全国のさまざまな先進地がある中で、本町の持つ豊かな自然資源を生かせるもの、その一つが再生可能エネルギーである。

この自然にある資源を「再生可能エネルギー」として活用している先進自治体の視察を行った。

バイオマスによる町づくり視察 ＝ 下川町

木質バイオマスボイラーで町おこし

視察先は北海道上川郡下川町。

林業と鉱物資源の町であったが、林業の衰退や鉱山の休山、それに伴う鉄道廃止などで一時期1万5000人の人口が3000人と5分の1まで減少。

持続可能な地域社会の実現に向け、地域資源である森林の間伐材を木材チップに加工して、木質バイオマスボイラーの燃料に使用。

燃焼エネルギーを温水に転換して供給するシステムで町おこしの重要な事業としている。

人口は9月1日現在3044人である。

温水供給を徐々に広げ住みやすい町をつくる

町の面積の9割が森林で、その内の85％が国有林、8％が町有林で間伐材も豊富に出ることから、地域資源を生かした木質バイオマスを選んでいる。

森林組合の活動も活発であるが、高齢化の問題を抱えていた。近年若年層の就業者が若干増えてきていることも、事業推進を後押ししている。

現在の温室バイオマスによる温水供給は役場周辺の公共施設だけだが、徐々に広げて住みやすい町を目指しているということである。

人口減少対策としても再生可能エネルギーを導入している下川町の取り組みは、本町においても参考とすべきものである。

豪雨災害に対する状況調査

産業厚生常任委員会

7月に発生した大雨による菅沼峠の路肩崩落により、片側交互通行との報告があり、状況調査を行った。

8月3日に発生した線状降水帯による豪雨災害は、本町に多大な被害をもたらした。

状況確認については被害状況確認に来町された知事、国会議員団等に正副委員長が同行した。

農地関連については、秋の収穫が終わらないと確認できないところもあるということで、その対応等が適切に行われるよう確認した。

表紙の写真

実りの秋　天高し

秋晴れの9月29日、大塚小学校5・6年生による稲刈りが、地域学校共同授業として行われた。

8月3日の豪雨で災害が発生したことから、稲刈りができるか心配していた。無事に稲刈りが終わると、収穫の喜びは、何とも言えないものである。「くい掛け」での乾燥のため、稲を集める作業にも自然と力が入るようだ。

今年も美味しいお米ができ、給食でみんなと一緒に食べるのが待ち遠しい。

次は一般質問

町政をただす

6人の議員がするどく一般質問

定例会第４日目・５日目に一般質問が行われ、６人の議員が町政について質問しました。
（発言順）に掲載します。

神村建二議員（19ページ）
1. 地球温暖化対策は
2. マイナンバーカードの現状と課題

渡部秀一議員（20ページ）
1. 豪雨災害と今後

吉村徹議員（21ページ）
1. ８月３日の大雨被害への対応

橋本欣一議員（22ページ）
1. ８月３日川西町洪水
2. 教育現場のICT化によるメリット・デメリットと小学校の統合状況

井上晃一議員（23ページ）
1. ８月３日からの大雨災害
2. 本町の国際交流

髙橋輝行議員（24ページ）
1. 過疎債の使い方
2. 保育料無償化
3. 玉庭小学校の状況

一般質問は、議会ホームページの録画中継によって見ることができます。（https://www.town.kawanishi.yamagata.jp）

まちの未来が見える（９月定例会の傍聴者は８人）

議会傍聴においでください

どなたでも傍聴できます
（事前連絡は不要です。
役場３階においでください）

次回定例会は12月です

定例会本会議、予算特別委員会はNCV、インターネットで生中継。議会フェイスブックもご覧ください。

川西町議会FB QRコード

川西町議会HP QRコード

※一般質問　議員が町の行財政全般に関し、執行者所見や疑義について質問できるものである。質問時間は１人につき質問答弁を含め60分以内とする。

LED化　本町公共施設のＬＥＤ化についてどう考える

町長 ― メリットを考え順次更新していく

神村建二 議員

神村　**国はカーボンニュートラル政策の一環として、2030年までに政府が所有する施設の100％ＬＥＤ化を閣議決定した。既存照明器具の生産は令和元年に終了しており、蛍光管の製造も2030年には終了すると言われており、ＬＥＤ化は喫緊の課題となっている。本町公共施設のＬＥＤ化についてどのように考えているか。**

町長　現在、公共施設ごとの照明器具数等の調査は行っていないが、全体では膨大な数になるので、施設の改修等も視野に入れながら計画的にＬＥＤ化を進めていく。

神村　**ＬＥＤ化による電気使用料削減額は財政メリットになるが、どのように見ているか。**

町長　従来の蛍光灯と比較した場合、約37％消費電力が下がるというデータがある。役場庁舎の電気使用料金に当てはめると、年間の電気料金が約30万円削減される。

ＬＥＤは蛍光灯と比較して3倍以上寿命が長いとも言われており、そうしたメリットを考え順次更新していきたい。

マイナンバーカードの利便性向上を図る

神村　**2016年に交付開始されたマイナンバーカードは、個人を識別するために国民一人ひとりに付与された12桁の番号であるが、カードの普及および利用における課題は何か。**

町長　カードの取得状況をみると、20代以上は約50％以上取得しているが、10代以下は約40％の取得率にとどまっており、若年層の普及に課題がある。

9月をマイナンバーカード申請の強化月間と位置づけ、未成年者の保護者や若年層にチラシの配布や呼びかけを行い、取得率向上に努める。

また利用における課題として、マイナンバーカード利用のサービスが少ないことなどがあり、さまざまな分野で利便性の向上やカード利用の拡大等を検討し、情報を提供していく。

ＬＥＤの街路灯

かわにしの　ここが聞きたい

一般質問

洪水被害

内山沢地域の水路設計見直しは

町長ー総合的な視点から復旧整備が必要

渡部秀一 議員

渡部　**8月3日次々と発生した線状降水帯が、短時間で驚くべき降水量を記録し、想定を超える被害となった。ダリヤ園周辺およびダリヤ園の被害状況は。**

町長　ダリヤ園周辺は内山沢堤から上小松および中小松の一部に至るまで、住宅被害84棟・道路冠水県道1路線・町道6路線その他4路線となっている。ダリヤ園は園内全域冠水、球根一部流出、園路・芝生・水路への土砂流入、ブロックの破損、自動販売機の流出、農業用水路崩壊となっている。内山沢林道は法面崩壊、路面洗堀、大光院堤1号（鏡沼）の決壊となっている。

内山沢地域の水路設計の見直しは

渡部　**新八堤は谷地化しており、浚渫もされずため池の機能を失っている。また鏡沼の決壊もあり、災害に強い町をつくるためにも、内山沢堤からの水路設計は大きく見直す時期ではないか。**

町長　東北農政局・農研機構農村工学研究所による現地調査が行われた。調査報告の中で内山沢堤、新八堤、鏡沼は「重ね堤」として3つがセットで農業水利確保と水害防止を担っている。現状に復旧することを基本に鏡沼等の復旧方法も踏まえて関係者と協議する。

内山沢地域に降った雨が鏡沼に押し寄せ決壊し、大量の土砂を含んだ泥水が下流域の小松地区内に大きな被害をもたらしたもので、総合的な視点からの復旧整備が必要であり、地域住民との意見交換を進めながら対策を講じる。

ハザードマップ

渡部　**ハザードマップにため池災害が入っていないのはなぜか。**

町長　ホームページではため池ハザードマップを掲載している。改訂の際に内容を反映する。地域別のハザードマップも検討している。

塩ノ沢射撃場

渡部　**塩ノ沢射撃場は全損となっている。有害鳥獣対策を頑張っている猟友会のためにもどうするのか。**

町長　施設管理者である米沢猟友会川西ブロックの皆さんと、意見交換を重ねながら復旧支援を行っていく。

決壊した鏡沼

洪水被害

住宅被害の対応は

町長ー相談内容に対応する

吉村　徹 議員

吉村　**8月3日の大雨による住宅被害について、移転せざるを得ない被害を受けた人はいないか、町としてはどのような対応となるのか。**

町長　9月2日現在、住宅への浸水被害は、床上浸水が14棟（内訳として半壊が3棟、準半壊が30棟、その他一部損壊が111棟）、床下浸水が225棟で、計369棟の被害を確認している。2件の相談が寄せられており、一世帯については、空き家バンクに希望する物件がなかったことから、独自に他市町に借家を探し、引っ越しされており、もう一世帯については、町営住宅の情報を提供している。今後も、被災された人の希望に沿うよう相談内容を聞きながら、対応に努めていく。

吉村　**このたびの豪雨被害について、8月4日に各自治会長に依頼しながら調査されたとのことであるが、農業被害の調査も含まれていたのか。**

町長　このたびの豪雨被害にあたり、8月8日付けで各地区の保全隊に対し、農地や水路、農道等の被害調査と応急処置を依頼している。

吉村　**「砂防ダム」の維持管理は。**

町長　山地から流れ出る土砂や流木等を受け止め、下流域への災害を予防、軽減する役割を担っており、施設機能が果たされる維持管理が重要であり、現状把握と必要な対策について、県に要望していく。

吉村　**農業関係、山林等早急な被害把握と復旧に向けた取り組みについてはどのように。**

町長　このたびの災害は過去に類を見ない規模となっており、国や県の情報を収集し関係者と情報交換しながら復旧支援策の検討を進めていく。

吉村　**激甚災害指定を受け、早期復旧を。**

町長　大規模な被災箇所については、国や県からの支援を受け、国の査定準備や、単独で行う小規模な被災箇所の対応について、早期の復旧を目指していく。

被災した民家　早期の復旧を

一般質問

洪水対策

8月3日大雨被害の全容は

町長 ー 調査中である

橋本欣一 議員

橋本 県内で初めての大雨特別警報や記録的短時間大雨情報は6回も出され、経験のない大雨により、甚大な被害が発生した。

特にダリヤ園鏡沼決壊により上小松地内で床上、床下浸水被害が発生するなど、想定外の場所での被害となった。8月22日の全員協議会で中間報告があったが、被害の全容はつかめたのか。

町長 住宅、河川、水田畑被害状況はつかめたが、特に山間部での被害は、林道崩壊流出等で調査できないため、全容はまだつかめない。まずは住民生活復旧に努めたい。

橋本 3年前の台風19号災害でも内水氾濫が起こったが、最上川に排水ができなければ、毎回浸水となる。流域治水の考え方は。

町長 流域全体で水害を軽減させる治水対策を進めるため、令和2年に最上川流域治水協議会が設立された。流域全体の総合的な防災、減災対策を進めている。

橋本 大雨が降れば毎回浸水では、実際生活ができなくなる。排水ポンプの常設など考えるべきではないか。

町長 最終排水となる最上川の整備が必要不可欠で、排水ポンプなどの整備をしても莫大な費用が掛かり、効果は薄いものと認識している。

学校現場のデジタル活用と玉庭小学校の統合は

橋本 児童生徒の一人一台のパソコンの配備は、英語や数学等で大きな教育効果を生んでいる。反面、準備する教員の負担が大きく、過重勤務になりがちであると聞くが実態は。

教育長 写真や動画による観察・記録など学習活動の幅が広がっている。教員には公務支援システムの導入や研修会などでキャリアアップを図っている。

橋本 玉庭地区から学区再編の要望書が出されたがどう考えるか。

教育長 少人数学級への不安や、児童減少によりPTA役員の選出困難、作業負担の増加などで早期の統合を要望するものだった。

今後、学区再編検討委員会を設置し、地区内での合意形成がなされるよう進めていく。

ダリヤ園との動脈が破損

国際交流

町の国際交流10周年記念は

町長 ー 式典の開催に協力

井上晃一 議員

井上 本町の国際交流は。

町長 メキシコ合衆国やブラジル・スザノ市と交流を深めてきた。

井上 川西町国際交流協会と町の関りは。

町長 町では「各種助成事業についての情報提供」や「広報活動の支援」また、コミュニティ助成事業の採択を受けたリモート交流で本町の行政や制度について学んでもらった。マレーシア、サバ州コタキナバル市の青少年育成団体と同協会の交流10周年記念事業では、式典の開催に協力していく。

井上 国際交流の今後は。

町長 町に居住・関係する外国人と町民が交流する場を設定するなど事業展開を図っていく。

大雨災害への対応は

井上 災害ごみ対応は。

町長 町田市などから人的支援やパッカー車の支援を受け感謝している。迅速に対応できたが搬出の際の分別等に課題があった。検証し今後に生かしていきたい。

井上 仮置き場は業者委託や重機利用とし、職員の負担を減らすべきではなかったか。

町長 研究し課題を整理したい。

井上 災害本部の対応は。

町長 午後5時に水害対策計画に基づい災害対策本部を設置した。

井上 ため池災害は想定していたか。

町長 想定していなかった。

井上 カメラなどの監視体制は。

町長 独自の設置はない。いずれも検証し教訓として次に生かしていきたい。

井上 住民からの問合せ窓口の一元化は。

町長 災害情報や警戒レベルが想定外の速さで、対応が間に合わず混乱も発生した。町民に迷惑を掛ける事態も発生し反省している。

井上 ボランティア受入れは。

町長 委託した町社会福祉協議会では、関係機関に運営協力を求め、8月7日から受け入れを開始し、家の中の泥出しや家財の片付け等の支援活動を行っていただいた。また、資機材や車両等は、多数の団体から支援をいただいた。

マレーシア交流　一層の深化を ＝ マレーシア、サバ州立大学の学生と交流

一般質問

保育料

保育料、白鷹町では完全無料化だが
町長 ― 範囲拡大は国に要請

髙橋輝行 議員

髙橋 6月定例会で白鷹町を例にして吉村知事の選挙公約である保育料無償化について質問したが、その後どのように県と交渉し、検討されたか。白鷹町は財源を過疎債で対応している。

町長 本町においては、保育料無償化がなされていない0歳児から2歳児までの範囲拡大は国に対して要請していくべきものと考えている。

過疎債の使い方は

髙橋 過疎債の活用にあたり戦略が見えてこない。過疎債を含む財源の使い方の計画的戦略をどのように考えているか。

町長 過疎債の活用には、指摘のとおり過疎計画が必要であり、戦略という部分に関しては、令和3年度からスタートしたメディカルタウン整備推進をはじめ、主要プロジェクトの実現に向けた施策に重点を置いている。

玉庭小学校の統合は

髙橋 玉庭地区から小学校の統廃合について要望書が出ているとのことだが、どのように検討されているのか。

平成27年度策定の計画の前に、平成18年の計画があり、私はこの計画が今でも生きていると思う。計画は小学校2校を目指すとしている。どう受け止めているか。

教育長 平成18年計画の上に議論を積み重ね、積み上げられたものが平成27年の計画につながっている。

髙橋 文科省の「公立小学校適正規模・適正配置に関する手引き」には、「言うまでもないが、公立小・中学校の設置の在り方を最終的に判断するのは学校設置者である市町村であるが」とある。

教育長 肝心なのは地域の合意と考えている。

髙橋 確認のためにもう一度お聞きする。最終判断は町ではないか。

教育長 最終的には教育委員会である。

お友だちといつも楽しく遊びます ＝ 川西町保育所

政策提言

意見交換会
3年連続中止

コロナ前活発に行われた意見交換会（令和元年の大塚地区）

川西町議会は9年目となる政策提言を、各常任委員会ごとに問題を整理し、提言書の手交を行う。議会は、行政に対して直接執行権がないことから、提言の実現状況を1年後に検証し評価する、全国でも数少ない取り組みである。

（コロナ禍で3年連続、意見交換ができない状況となった）

政策提言検証の流れ

（令和２・３・４年度）

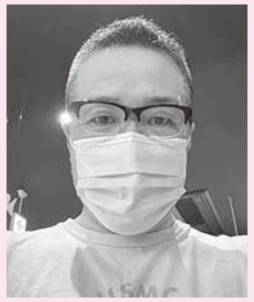
- 問題整理・発見（各常任委員会）
- ↓ ９月議会中
- 分析・討論
- ↓ ９月議会中
- 提言事項の精査（広聴広報委員会）
- ↓ ９月中旬
- 議会運営委員会
- ↓ 10月中旬
- 政策提言　11月上旬

（平成30年度まで）

- 意見交換会　平成30年 8/21・22
- ↓
- 問題整理・発見（広聴広報委員会）
- ↓
- 分析・討論（各常任委員会）
- ↓
- 提言立案・討論（全員協議会）
- ↓
- 政策提言　平成30年 10/26
- ↓
- 回　答　平成30年 11/30
- ↓ １年後
- 政策検証・評価　令和2年 1/31

広報モニターから ひとこと⑥

玉庭　伊藤　久一（ひさかず）さん



天災地変

8月3日の置賜豪雨により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。私の居住する地域でも水田のり面や河川・林道の斜面崩落があちらこちらに見られ、幸いにも県道、水道、電気、通信は無事でしたが、改めてライフラインが命綱であり、通行できないと陸の孤島になると痛感しました。線状降水帯が発生すると、思いがけない雨量の被害が予想されるので、これからの防災対策を町は重点的に強化してほしいです。

人口減少と公共施設の老朽化や存続可否も年々深刻化しています。地元でも保育所の休園、小学校の統合要望、中間世代の町外転出増、商工施設廃業や自動販売機の撤去、イノシシ、サル、クマ等鳥獣による農作物多被害など、人口が減っていることと同時にさまざまな問題に直面しています。

議会活動や、議会だよりを通して町民に分かりやすく、優先順位理由と進捗状況を伝えて頂きたいと思います。あとは野となれ山となれでは子孫泣くのみ。

次は街かどインタビュー

いいね！かわにし 街かどインタビュー

東日本鉄道文化財団　太田　稔さん

駅を文化の薫る場所にと活動しています。羽前小松駅は多くの町民に愛され、駅前広場は、イベントなどで、特に高校生にも利用してもらっております。長く駅を大切に思って利用していただきたいです。

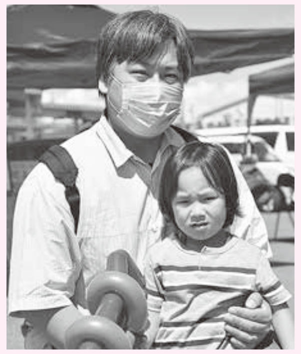
斎藤　秀則さん（中小松）

川西町はイベントなどが自由に企画できる町です。何もないところから自分で作り上げるところが好きです。裏方が多いですが好きでやっています。PRを上手に、もっと町を盛り上げたいですね。

鈴木　瑠奈さん・瑠彩（るあ）ちゃん（犬川）

友達がイベントに出店しているので親子で、応援に来ました。

久しぶりの晴れ間で、コロナで気分も落ち込みがちですが、子どもとともにリフレッシュです。子どもが遊べる広場が欲しいです。



松田　優作さん・峻司さん（山形市）

子どもがイベントのダンスに参加するので一緒に来ました。

コロナでなかなか発表の場がなく、久しぶりにみんなと一緒に踊れます。楽しみにしています。川西町にはよくダリヤ園などに来ています。

船山広昭さんご家族

イベントは町報とチラシで知りました。川西ではいろんなイベントがあり、機会があれば参加しています。皆さん一生懸命な取り組みでとても楽しみです。家族で気軽に楽しめる公園があればいいですね。

髙橋　小雪さん（中郡）

高校時代の課題研究から町の色々なイベントに積極的に参加しています。

今は人文社会を学んでいます。生まれ育った町を、特に子どもが住みやすい町にしたいと思っています。

Hanalima代表　髙橋　惟さん（吉島）

ハナリマはハワイ語で手づくりの意味。昨年6月から第1日曜日に駅東口駐車場でマルシェを開催しています。

町を元気にしたいという思いからSNSで募集し、少しずつ仲間が増えてきました。興味のある方、一緒に参加しませんか。

髙橋　洋子さん（吉島）

ハナリマのメンバーです。友達といっしょに物を作ったり、初めて会った人とも気軽に話すことができ、とっても楽しいです。今後は、新鮮野菜なども出店していきたいです。

9/4（日）久々の晴れの中でにぎわう 鉄道開業150周年駅コンサート（小松駅東口）にてインタビューしました。

感染対策を施し実施しました。

わがまちSDGs 第6回 追跡

有機農産物の生産拡大 持続可能な農業戦略

令和3年5月に農水省は、持続可能な食料システムの構築に向け「みどりの食料戦略」を策定し、中長期的な観点から、調達、生産、加工・流通、消費の各段階の取り組みとカーボンニュートラル等の環境負荷軽減のイノベーションを推進している。

本町では、かわにしオーガニックビレッジ推進協議会を設立し有機農産物生産の拡大に努めている。

持続可能な農産物生産に向けた取り組み

置賜農業高校が、米・食味分析コンクール：国際大会全国農業高校お米甲子園で最高金賞受賞と以前紹介したが、米は、有機質肥料で栽培したものであり、有機質肥料も地元産とのこと。

この受賞は、持続可能な農産物生産および有機農産物生産に向けた取り組みの励みとなるものであり、今後の推進にあたり、大いに期待できる。

かわにしオーガニックビレッジ推進協議会

町は、「みどりの食料戦略」を受け、総合計画で取り組むとしている有機農産物の生産拡大を図るため、地元有機農業生産者・団体、有機農業に関心のある農業者・団体等による組織を設立した。

協議会では、有機農業者の高齢化による面積減少防止や、新規有機農業者の創出・慣行栽培からの転換による有機農業面積の増加に寄与し、地元旅館や産直施設を活用していく。

また、新たな販路拡大と地産地消の取り組みを推進し、町が重点作物としている枝豆の有機化にも取り組むとしている。

取り組み面積の拡大 持続的発展を実現

2050年まで耕地面積に占める有機農業面積の割合を25％（100万ha）に拡大する。現状は、目標面積の約0・4％が町（40ha）、国は約1％（100ha）。

農業生産に由来する環境負荷を軽減し、持続的な発展実現ため、有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者・事業者等、地域内外の住民を巻き込んで推進することを目的とする。

安定した生産体制の確立

農業生産資材、特に肥料・農薬の高騰は、農家経営を圧迫してきている。こうしたことから有機肥料等でコスト低減を図り、消費者ニーズに対応する有機農産物の生産面積を増やしていきたいとしている。

今後、安定生産へ向けた技術の確立等、関係機関と連携し推進していくとしている。

合鴨もSDGsに一役

次はインタビュー町民の声

インタビュー 町民の声

子育てしやすい町に

大塚地区にお住いの長谷川可奈子さんに子育てや町に望むことをお聞きしました。

❖ プロフィール ❖

長谷川可奈子さん(はせがわ かなこ)
川西町大字西大塚
家族構成は、夫と子ども2人
出身地は、村山市
趣味は読書と音楽鑑賞

川西町にきて

可奈子さん： 村山市楯岡の出身です。山や田園風景などふるさとに似ていて落ち着きますね。川西町にご縁があり、現在2人の子どもに恵まれ、幸せに暮らしています。

○出会いのきっかけは？

可奈子さん： 町内の医療機関に勤務し、後に主人が同じ職場に入り知り合いました。医療事務と薬剤師として仕事をしていくうちに仲良くなりました。

○川西町の印象は？

可奈子さん： 雪が多いこと。来たばかりの頃、大雪だったのが強く印象に残っています。また、高齢者の方々と接する機会が多く、常に感じることは、みなさんとても温かい人ばかり。「おしょうしな」の方言がとてもうれしいですね。

○子育てで思うことは？

可奈子さん： 2人の子どもたちは、大塚小学校の1年生と2年生です。現在、単位学年は1クラスごとの構成ですが、進む少子化の影響で将来の学校統合問題が気になりますね。

また、高校生が町外へ通学するにあたり、交通手段が不便だと感じますね。

町に望むことは？

可奈子さん： メディカルタウンが完成すればアクセスが良くなり、スーパーができることもうれしいです。

子どもが遊べる屋内施設があるなど、冬でも子育てしやすい町にしてほしいです。

○開業された思いは

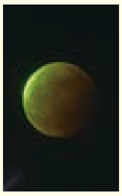
隆太(たかひろ)さん（夫）： 薬局を開業したのは、近くに総合病院や個人病院がある環境で、地元で地域医療の一翼を担うことができたらと考えました。

医療機関や介護施設、患者さんの架け橋になりたいとの思いから「虹」をイメージに「ないろ薬局」と名付けました。みなさんから信頼され、安心して利用いただける薬局にしたいと思っています。

笑顔あふれる家族

編集の後で

▼8月3日の豪雨災害で被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。▼ダリヤ園は関係者の尽力で9月21日に再開園し、明るい話題となりました。▼ところで、11月8日18時頃から皆既月食と天王星食があります。2つのイベントが同時進行するとてもめずらしい現象となります。天気が良ければ東の満月を見てくださいね。
（Ⓡ星のソムリエ　井上）



発行責任者　鈴木　幸廣
委員長　橋本　欣一
副委員長　遠藤　明子
委員　伊藤　進
同　伊藤　寿郎
同　寒河江　司
同　井上　晃一
アドバイザー（文章）　佐々木賢一
同　遠藤　勝則
アドバイザー（写真）　山田　順一
齋藤　文夫